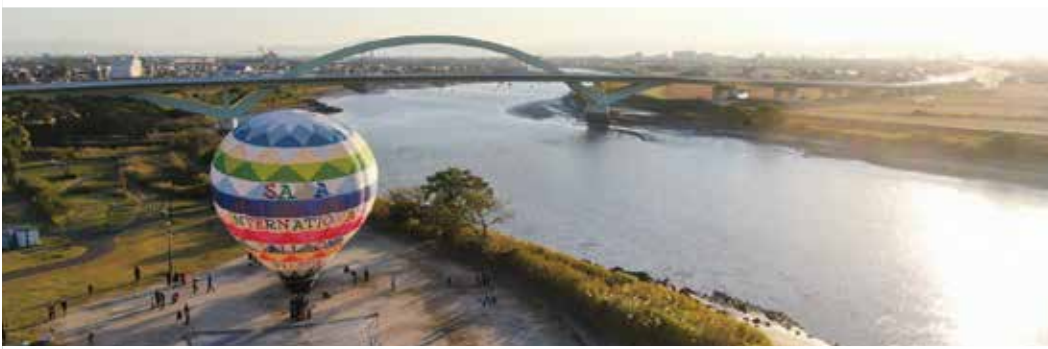


令和4年度 実施事業

公益目的事業 報告書



令和5年4月



一般社団法人
九州地域づくり協会
Kyushu Regional Management Service Association



笑顔をつなぐ地域づくり

一般社団法人九州地域づくり協会（前身は社団法人九州建設弘済会）は、昭和40年の設立以来58年間にわたり、河川や道路を舞台とした九州各地のボランティア活動などの地域活性化支援や社会資本整備に関わる広報活動などに幅広く取り組んで参りました。

その中であって、社会資本整備に対する国民のニーズが多様化する状況を踏まえ、平成15年からは、若手研究者の育成等を兼ねた研究等助成事業、また平成17年度からは、当協会の創立40周年を記念して土木遺産発掘調査に取り組むなど、多様なニーズに応じて事業内容を充実させ今日に至っています。

さらに近年では、平成28年4月熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨、令和2年7月豪雨、令和3年8月の大雨などの九州地方における大災害に対し、被

災自治体や災害ボランティアへの支援等へも積極的に取り組んでいます。

平成25年4月の一般社団法人移行にあたり、内閣府へ「公益目的支出計画」を移行認可申請書の一つとして提出し、内閣総理大臣より公益目的財産額の確定通知を受け、「公益目的支出計画」が確定しています。

この「公益目的支出計画」では、平成24年度までに実施してきた公益事業（収益を伴わない事業）をあらためて公益目的事業として位置付けし、社会貢献を続けています。

本報告書では、令和4年度に実施した公益目的事業について、九州各地の地域づくりや環境美化等の活動に活躍されている方々をご紹介します。

笑顔をつなぐ九州の地域づくりの参考となれば幸いです。

令和5年4月

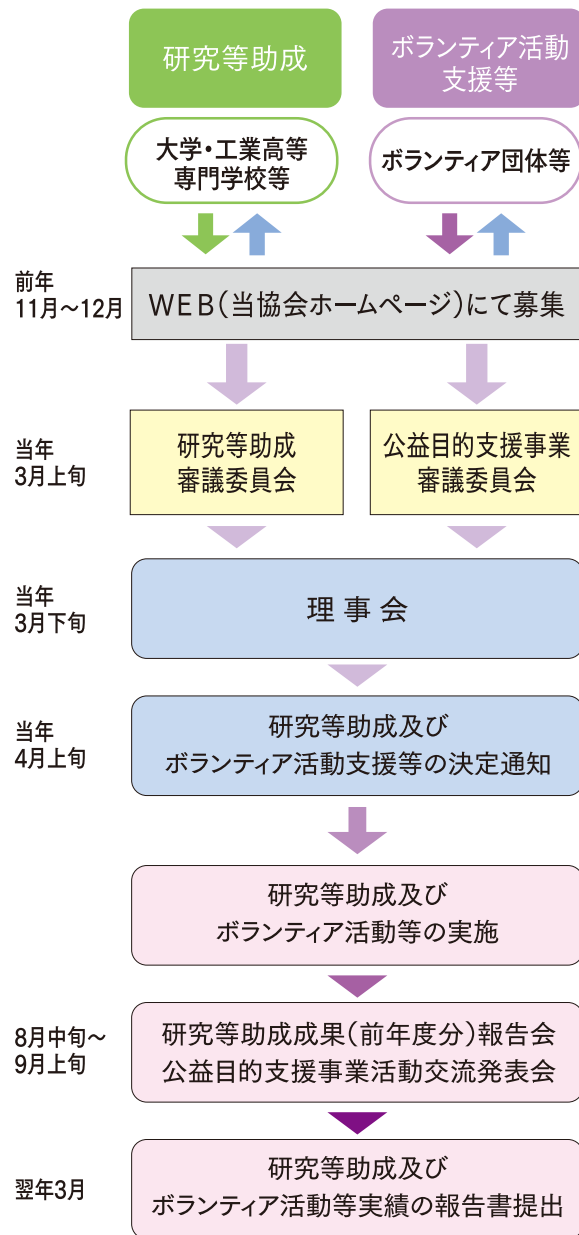


●公益目的事業の募集及び運営について

当協会では、公益目的事業として、
①社会資本整備に関する広報活動事業、②建設事業の推進及び普及のための調査研究事業、③地域活性化等支援事業、④防災活動等支援事業の4つを継続実施しています。

このうち、②の研究等助成事業は、これまで外部有識者から構成される「研究等助成審議委員会」を設け、幅広い意見を反映した手続きを行っています。

また、①、③、④のボランティア活動等の支援事業についても、令和2年度より、外部有識者から構成される「公益目的支援事業審議委員会」を設け、幅広い意見を反映した手続きを行っています。



1



社会資本整備に関する 広報活動事業

実施額：16.6(百万円)

【事業の概要】

国土開発の発展及び地域社会の繁栄に寄与することを目的として、国及び地方公共団体と連携を図りながら国土交通行政、社会資本整備に関する広報啓発活動、講習会等を通じて、一般市民の社会資本に関する理解を深める活動を支援します。

p5 広報活動等事業

- 「国土交通Day」 ●「川の日」
- 交通事故防止キャンペーン
- 道守活動事業、「土木の日」他

p8 講習会等事業

- 九州地域づくり協会主催によるセミナー等

p9 九州建設資料館運営事業

- 本部資料室「KMAプラザ」の設置
- 贈与図書等の整理
- 検索システム更新等

2



建設事業の推進及び 普及のための 調査研究事業

実施額：46.8(百万円)

【事業の概要】

九州における社会資本整備の普及とさらなる理解を図ることを目的として、社会資本整備の歴史の調査研究を行うとともに、建設技術等の推進に関する調査研究及び人材育成への助成を行います。

調査研究事業

- p10 ①九州土木遺産調査研究
- p12 ②九州地域の社会資本整備の歴史
- p13 ③防災に関する調査研究

研究等助成事業

- p14 ①大学等への研究助成事業
- p15 ②人材育成に関する助成事業

3



地域活性化等 支援事業

実施額：18.7(百万円)

【事業の概要】

社会資本整備に対する理解の醸成を目的として、河川・道路等の愛護活動を通じた地域活性化、体験学習等を通じた人材育成、地域インフラの愛護活動及び地域資源等を活かした地域活性化の活動を支援します。

地域活性化等支援事業

- p16 公益目的支援事業活動交流発表会
- p17 ①河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業
- p18 ②環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業
- p20 ③河川・道路等の愛護活動支援事業
- p24 ④地域資源の活用による地域活性化活動支援事業

4



防災活動等 支援事業

実施額：11.9(百万円)

【事業の概要】

安全・安心な暮らしに寄与することを目的として、近年の異常気象等により発生する災害に対し、公共土木施設等の整備・管理等に専門的なノウハウをもつ集団やNPO等が取り組む活動などを支援します。

防災活動等支援事業

- p26 災害復旧技術講習会(協会主催)
- p27 九州防災エキスパート会への支援
- p28 まちなか防災2022への支援(NPO法人 白川流域リバーネットワーク)

1

社会資本整備に関する 広報活動事業

広報活動等事業

●全国行事

令和4年度「国土交通Day」



フォトコンテスト(国土交通Day)

令和4年度「川の日」



出典:日本水大賞委員会事務局
公益社団法人 日本河川協会HPより



出典:「川の日」実行委員会HPより

●図書等の配布



交通事故防止キャンペーン



会報九州



公益目的事業報告書



調査研究助成事業
成果報告書

社会資本の整備・利活用に向けた地域活性化や啓発活動につながる事業及び全国規模開催の「国土交通Day」、「川の日」等へ協賛するとともに、小・中学校で実施されている「交通事故防止キャンペーン」等へ図書を寄贈しています。

また、協会活動等を紹介する「会報九州」、河川・道路・地域づくり等の支援についての「公益目的事業報告書」及び大学等への助成についての「調査研究助成事業報告書」を作成しています。

土木関連の広報イベントでは、土木の仕事の魅力や社会資本整備、防災対応の重要性等を

PRするとともに、九州各地における道路の清掃・美化等の「道守会議」の広報活動についても支援を行いました。

更に、地域住民へ河川・道路・地域づくり等の理解を深める啓発活動(広報・学習活動等)やNPO等の社会資本整備に関する広報活動を支援するため、当協会ホームページにおいて毎年、11月上旬から12月下旬までの間、一般公募を行っています。

令和4年度、コロナ禍による活動中止等もありましたが、24団体に対して支援を行いました。

● 広報活動事業の一部を紹介

I LOVE 遠賀川活動

特定非営利活動法人 遠賀川流域住民の会

事業の内容

- 遠賀川流域の清掃活動及び環境美化啓発

事業の効果

- 今回もコロナ禍で小規模な実施となりましたが、遠賀川流域における清掃及び環境美化の広報活動として、芦屋及び若松海岸に流れ着くゴミの大半が遠賀川流域から流れ出ていることを再確認できたことは意義がありました。



道守体験事業・道守交流会

道守佐賀会議

事業の内容

- 「みちづくし in 阿蘇2022」への参加
- 佐賀城下ひなまつりおもてなし清掃
- さが桜マラソン2023応援清掃

事業の効果

- 「みちづくし in 阿蘇2022」に参加したことで、今後の道守活動に対する意識向上、知識向上につながっています。
- 令和4年10月30日開催の有明沿岸道路開通記念イベントでは、佐賀県、佐賀市と共同で清掃活動等を行い、道守活動の広報に寄与できました。



道守支援事業

特定非営利活動法人 道守長崎

事業の内容

- 道守九州会議との連携事業
- 道守長崎情報交流事業
- 花植え・清掃支援事業
- 道守情報発信事業

事業の効果

- コロナ禍の影響が少なくなり、今年度は総会も復活し、情報共有の場ができたことで、モチベーションが高まっています。
- 道路清掃活動や花植え活動により、地域の美化啓発につながっています。



● 広報活動事業の一部を紹介

みちづくしin阿蘇2022

道守九州会議

事業の内容

- 交流会(令和4年10月28日)
 - 基調講演及び報告
 - フロアミーティング
- 現地体験学習(令和4年10月29日)

事業の効果

- 交流会では、災害時や復興過程での道守活動事例の紹介やこれからの道守の役割等について意見交換が行われ、改めて道守活動の活性化を促進することができました。
- 現地体験学習では、現在工事中の現場を見学することで、道路の果たす役割や効果について認識を深めることができました。



宮崎県「土木の日」

宮崎県「土木の日」実行委員会

事業の内容

- 小学生を対象としたミニ講義と現場見学会
- 各地区行事にて「土木の日」イベント開催
- 「土木の日」パネル展実施(令和4年11月26日~27日)

事業の効果

- ミニ講義では、身近な土木の役割を学び、河川・道路管理者の役割や維持管理の仕組みを体験していただきました。
- 各地区行事では、「土木の日」PR活動を実施し、出前講座体験学習を通じて土木の仕事に対する興味喚起ができました。



zoomUP

産学官が共同し、次代の建設人材を育てる

おおいた建設人材共有ネットワーク(BUILD OITA)は、次代を担う実践力と創造力を備えた建設人材を産学官が共同して育み、地域に定着・還元することを通じて、建設産業の活性化と技術者・技能者の社会的地位の向上を図り、地域社会の発展に寄与することを目的に平成28年に発足。「建設産業の意義・魅力の発信」、「学習機会の充実・強化」、「若手・女性の活躍ステージ拡大」、「地域課題への挑戦」という4本の柱を軸に、建設産業のPR動画製作やSNSによる情報発信、インターンシップの受入拡充、女性が働きやすい職場環境の創出など、さまざまな活動に取り組んでいます。

協会からの支援金は、最新のICT技術を導入した建設現場を、若者に体験してもらうバスツアーなどに活用しています。



おおいた建設
人材共有ネットワーク
会長 佐藤 啓治 氏



建設業界で活用されるVR技術を体験

講習会等事業

講習会等事業は、河川・道路・地域づくり・防災等の社会資本整備に関する講習会等の開催や他団体の講演等へ支援を行ってお

り、令和4年度はコロナ禍のなか、以下2件の講演(習)会を主催致しました。

第9回 地域づくり政策セミナー



■日時:令和4年10月6日(木)
13:00~17:00

■会場:リファレンス駅東ビル貸会議室(3F)
受講者144名(会場参加50名、Web聴講94名)

■目的:「新国富指標」を活用した地域づくりの先進事例紹介とともに、新国富指標導入のヒントを提供することを目的に開催しました。

■セミナー内容

1)基調講演 「新国富指標によるSDGs目標の優先度」 九州大学工学研究院 教授 馬奈木 俊介 氏

2)事例発表 ①「地域経営とまちづくり」 九州地方整備局 建政部 都市調整官 松田 純一 氏
②「中間市が取り組む人とまち再生力日本一」 中間市長 福田 健次 氏
③「国東市が取り組むSDGs政策」 国東市長 三河 明史 氏

3)パネルディスカッション

「新国富指標を用いた地域経営～持続可能で豊かな地域(人・インフラ・自然)づくり～」

・コーディネーター 公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部長 岡野 秀之 氏

・アドバイザー 九州大学工学研究院 教授 馬奈木 俊介 氏

・パネリスト

- ①中間市長 福田 健次 氏
- ②国東市長 三河 明史 氏
- ③(株)サステナブルスケール 代表 平田 慶介 氏
- ④九州地方整備局 建政部 都市調整官 松田 純一 氏

パネルディスカッションでは「地域の豊かさの認識について」「持続ある豊かな地域づくりへの課題と方策」について議論していただきました。

岡野コーディネーターより、産学官で連携し、市民が主体となって小さなことからチャレンジし、少しでも結果を出していくことが持続可能で豊かな地域づくりにつながるとまとめていただきました。



岡野 氏



馬奈木 氏



福田 氏



三河 氏



平田 氏



松田 氏

令和4年度 九州の河川維持管理技術に関する講習会(南部)

■日 時:令和4年12月3日(土)13:00~17:00

■受講者:Web111名(対象/九州・山口県内 配信/Zoomウェビナー)

■目的: 近年、災害の激甚化や河川施設の老朽化が懸念されており、日頃からの防災・減災に向けた河川維持管理の水準確保・向上の重要性から、豊富な経験を有する官民の技術者の知見を活用し、河川管理に関わる技術者の技術力向上を目的としています。

■講演内容:

「河川環境の維持管理について」

宮崎大学 名誉教授 杉尾 哲 氏

「河道の維持管理について」

国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究室長 福島 雅紀 氏

「九州における河川の維持管理について」

国土交通省 九州地方整備局 河川情報管理官 中村 星剛 氏



杉尾 氏



福島 氏



中村 氏

九州建設資料館運営事業

当協会では、平成17年4月より、当協会福岡支所の九州建設資料館において、収集及び寄贈を受けた図書等の一般公開を行ってきました。

令和2年11月、更なる利活用向上を図るため、九州建設資料館より当協会本部へ閲覧対象の図書約2,800冊の移動を行い、「KMA※1プラザ」を設置しました。

KMAプラザでは、主に河川、道路、トンネル、橋梁、建設、土木、環境等の分野の技術図書その他、災害記録や各種工事報告書なども閲覧することができます。

令和4年度においては、約120冊の寄贈図書等の追加登録を行ない、更なる蔵書充実に努めています。

なお、対象図書については、協会ホームページの「図書検索システム」によりご確認できます。



※1) KMAは九州地域づくり協会の英文表記 Kyushu Management Associationの略です。



開館時間	9:00～16:00 (会議室内に併設のため、事前にお電話でご確認及びお申込み下さい。)
休館日	土日祝日および年末年始 ※ 臨時休館等の変更あり
問合せ先	092-476-5680 (九州地域づくり協会 企画部企画課)
所在地	福岡県福岡市博多区博多駅東 2丁目5-19 サンライフ第3ビル4F



交通のご案内

●JR鹿児島本線 博多駅より徒歩3分

土木技術に関する資料寄贈をお願いします

ご寄贈くださる場合には、あらかじめ上記問合せ先にお電話をいただけたら幸いです。

<https://www.qscpua.or.jp/kma/>



2

建設事業の推進及び普及のための 調査研究事業

調査研究事業

①九州土木遺産調査研究

調査研究事業

本事業は、若い土木技術者達をはじめとした関係者が土木の仕事に誇りを持ち、土木への志を奮い起こさせ、土木技術の啓発・継承や継続的な人材育成に役立てるための調査研究です。先人達が時代の技術や知恵を集結し、次世代

のために築造した歴史的な土木施設に光を当て、観光、地域振興に活用することを目的に、協会がまとめた土木遺産(247箇所)を平成17年度より当協会ホームページにおいて「土木遺産in九州」として一般公開してきました。

土木遺産の活用策検討

1. 検討の目的・概要

本検討は、土木遺産の活用により地域の活性化を促すために行うものであり、令和元年～3年度においては、専門家によるワーキング及び委員会形式により、土木遺産の活用を図るための基礎調査や活用方策の検討を行い、広報資料として「土木遺産な旅のススメ(案)」を作成しました。

令和4年度は、これまでの検討結果について実践地域で試行の検討を行い、その結果を基に「土木遺産な旅のススメ」の発刊に向けての原稿を作成しました。

2. 令和4年度の検討内容

1) 土木遺産活用の試行箇所の検討

昨年度試行した川、道のフィールドに加え、第1回WGの意見も踏まえ、港を含めた「まちづくり」の視点で「長崎市」と「唐津市」の2箇所を選定し、地域の土木遺産の調査とともに、地域活動団体に対して連携の可能性を検討しました。

令和4年7月30日～31日、長崎で現地調査及び地域活動団体と意見交換会を行いました。

なお、9月19日予定の唐津市現地調査が台風接近により中止となったため、12月7日の第3回WGにおいて、唐津市の地元団体と意見交換を行いました。



長崎の視察実施状況(本河内低部ダム)



長崎の地元団体との意見交換

2) 土木遺産活用策検討委員会(WG等)の実施

各専門分野の立場から土木遺産の活用に向けた調査や地域活性化の取組、広報展開等について検討する場として、以下のWG及び編集会議を実施しました。

● WGの実施【WG委員】(五十音順)

- ・石橋 知也 長崎大学大学院 工学研究科 准教授
- ・片田江 由佳 プロセス・プランナー／コンサルタント
- ・高山 美佳(副委員長) LOCAL&DESIGN株式会社 代表取締役
- ・田中 尚人(委員長) 熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授
- ・寺村 淳 第一工科大学 工学部 環境エネルギー工学科 准教授

【開催日時】 第1回WG:令和4年5月13日

第2回WG(長崎市現地視察):令和4年7月30日～31日

第3回WG:令和4年12月7日

第4回WG:令和5年3月6日

● 編集会議の実施

WGの高山副委員長を編集長として、「土木遺産な旅のススメ」の編集作業を進めました。

- ・LOCAL&DESIGN(株)代表取締役 高山 美佳(副委員長)
- ・一般社団法人 九州地域づくり協会 赤星 専務以下主要メンバー
- ・株式会社 建設技術研究所 数名

【開催日時】 第1回:令和4年12月13日

第2回:令和5年1月16日

第3回:令和5年1月31日

第4回:令和5年2月13日

3) 土木遺産活用策検討委員会の実施

土木遺産活用策に関するWGでの検討結果を踏まえ、令和5年3月27日、今後の土木遺産活用に向けての方向性を検討する場として土木遺産活用策検討委員会を開催し、「土木遺産な旅のススメ」発刊に向けた原稿内容の了承とともに、今後の「土木遺産な旅のススメ」の利活用推進のあり方等についてご審議いただきました。



【委員会委員】(五十音順)

- ・高山 美佳 LOCAL&DESIGN株式会社 代表取締役
- ・田中 慎一郎 一般社団法人 九州地域づくり協会 理事長
- ・田中 尚人 熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授
- ・玉川 孝道(委員長) 元西日本新聞社 副社長
- ・吉武 哲信(副委員長) 九州工業大学大学院 工学研究院 教授

九州各地における土木遺産の魅力を地域の風土・文化や資源を含めて内外に紹介するとともに、地域活性化に向けた具体的な支援手段として、「豊後街道と土木遺産めぐり」「やまなみハイウェイと土木遺産めぐり」「豊後街道を往く」の冊子(3部作)を作成しました。

開催された九州内の道路の清掃・美化活動等を担うボランティア団体が一同に集う「みちづくしin阿蘇2022」において参加者へ配布いただきました。

今後、当協会ホームページにおいても掲載を行う予定です。

なお、当冊子は令和4年10月28日～29日に

1) 豊後街道と土木遺産めぐり

現在も熊本で清正公(セイショコ)さんと呼ばれ親しまれている加藤清正公と明治維新の要人・勝海舟が案内人となり、肥後(熊本)から豊後(鶴崎)へと九州を横断する豊後街道を軸に地域資源を紹介すると共に、熊本地震からの復興についても触れています。

「磐根橋」「渡鹿堰」「鼻ぐり井手」「立野橋梁」などの土木遺産をはじめ、地域の魅力を紹介しています。

2) やまなみハイウェイと土木遺産めぐり

①阿蘇火山②内牧温泉③坂梨④産山・瀬の本⑤久住高原⑥牧ノ戸・長者原の6エリアにおいて阿蘇の大自然、土木遺産、熊本震災復興について写真や地図を多数交え、読みやすい冊子構成となっています。

昔を偲ぶことができる「白水堰堤」「明正井路第一拱石橋」なども取り上げています。

3) 豊後街道を往く

参勤交代時の大名一行が往来した由緒ある歴史の道「豊後街道」を、札の辻から境の松の石畳(かつて肥後と豊後の境として植えられていた松が名前の由来となっている)までを様々なエピソードを交えて、持ち歩きしやすいようにジャバラ折り様式で作成しています。



九州地方では、過去より大規模かつ多様な災害により教訓を得て様々なことを学んできました。

一方で、災害の教訓は伝えにくく、また過去の災害に関する資料が継承されず、十分に活用されていない状況も見受けられます。

このため、九州地方において過去に発生した地震、津波、火山災害及び風水害に関する調査結果を平成24年より収録し、当協会ホームページの「九州災害履歴情報データベース」として継続的な公開を行っています。

九州災害履歴情報データベースの利用促進

令和4年度は、広く一般に当データベースの内容を周知させるため、地域防災団体等の方々に対して、当データベースの紹介及び実際の防災活動への活用可能性などの意見収集を行いました。更に、防災活動主体のニーズ等を確認したうえで、防災活動の支援及び一般の方の利用促進に向けた課題を整理するとともに、伝承冊子の追加作成を行いました。

1.利用展開に向けた意見収集

1)意見収集方法

九州及び福岡地域で活発に防災活動を行っているNPO法人日本防災士会九州ブロック支部及び博多あん・あんリーダー会の2団体にアンケートを行いました。

	博多あん・あんリーダー会	防災士会九州ブロック支部
事前ヒアリング	R4.9.22	R4.10.21
アンケート	R4.11.6~ R4.12.10(Web※) R4.12.10(紙面)	R5.2.17(紙面) ※宇佐市の防災活動研修会で実施
回答数	35件	21件

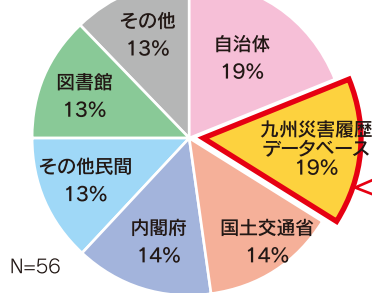
※Google formsを活用

2)アンケート結果

アンケートの結果、福岡市・宇佐市のいずれも、情報源として災害履歴情報データベースを利用している方が多い事が分かりました。一番は自治体で、自分たちの居住地域というピンポイントな情報があり、公的な機関で情報信頼性が高いことが選択の理由でした。

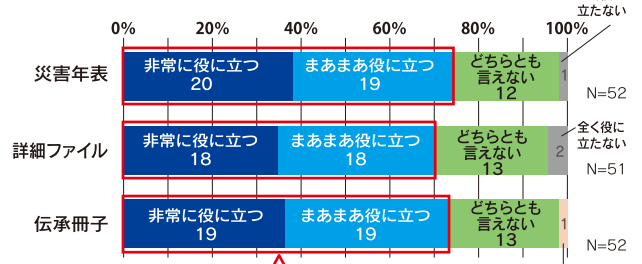
災害履歴情報データベースについては、両方の7割で「役に立つ」という好感触が得られました。その理由として、伝承冊子などでは「子供や高齢者でも分かりやすい」という意見が挙げられています。

■情報源



自治体に次いで、九州災害履歴情報データベースの利用者が多い

■災害履歴情報データベース掲載内容への感想



主要な掲載内容は、「役に立つ」という意見が多い

2.伝承冊子の作成

本検討で実施したアンケートの結果を踏まえ、災害伝承のエピソードを今年度、3件作成し、現地調査結果や災害履歴情報データベースの概要資料を踏まえて冊子に反映するとともに、令和3年度作成した冊子の4件についても、構成や表現を見直しました。

■本年度作成した災害一覧

災害名	地域
桜島大正大噴火 1914年	鹿児島県
昭和28年 筑後川大水害	福岡県
享保5年7月 九州北部豪雨	福岡県



伝承冊子(享保5年7月九州北部豪雨)
※今後、当協会ホームページで公開予定

調査研究

国際化、情報化等の進展に伴い、国民のニーズが多様化する中で、適切な国土管理及び円滑な社会資本整備の進め方などに寄与するため、土木技術全般に関わるハード及びソフト両面についての調査研究が求められています。このため、若手研究者の育成も兼ねて、九州地区の大学・工業高等専門学校に対して募集し、それに要する費用を助成しています。なお、特定テーマとは①地域の活性化・再生、②インフラの老朽化対策及び生産性向上方策、③九州地域等における防災・減災対策であり、それ以外を一般としています。

令和4年度 調査研究決定者一覧表

番号	大学・高専名	調査研究課題名	研究テーマ	実施期間
1	九州大学大学院 工学研究院社会基盤部門	エネルギーハーベスティングを考慮した斜面防災に向けた早期警報システムの構築	特定	令和4年4月4日～ 令和5年3月31日
2	九州大学大学院 工学府土木工学専攻	塗膜劣化傷と鋼材の電気化学機構の連成解明に基づく腐食センサの開発	特定	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日
3	佐賀大学 理工学部理工学科 都市基盤工学コース	筑後川上流域のダム群による治水効率の最適化	特定	
4	佐賀大学 理工学部理工学科	河岸ガタ土堆積抑制システムの開発とその効果に関する研究	一般	
5	長崎大学大学院 総合生産科学域 工学領域システム科学部門	IoT技術を活用した建設・環境テレメトリング手法の適用に関する調査研究	一般	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日
6	熊本大学 熊本創世推進機構	かわまちづくりによる流域連携の促進に関する研究	一般	令和4年5月3日～ 令和5年3月31日
7	熊本大学 くまもと水循環・減災研究 教育センター防災型社会システム部門	河川増水による横力・揚力を受ける鋼製支承部の損傷プロセスの検討	特定	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日
8	熊本高等専門学校 専攻科 生産システム工学専攻	流れ中にある橋梁の流出挙動と流出対策工法に関する研究	一般	
9	熊本高等専門学校 生産システム工学系 AC-Gr	ESGが示す建設産業の現状評価と産官金への意識調査を通じた新たな価値創出	一般	
10	鹿児島大学大学院 理工学研究科	シラスを含む築堤材料の保水・透水特性の試験データ蓄積と数値力学モデルの改良	特定	

令和2年度追加分・令和3年度 調査研究助成報告会[令和4年8月31日(水)]

平成15年度より研究助成事業を開始し、研究助成の成果発表会は昨年度に続き9回目の開催となりました。今回もコロナの感染拡大に伴い、9名中7名の報告者はWeb対応となりました。



理事長あいさつ



Webでの報告会の様子



会場での報告会の様子

今日、皆様にご報告いただきました研究成果は、今にも実現しそうなもの、これから先が非常に楽しみなものなど大変興味深く拝聴させていただきました。皆様の研究報告は、当該研究を選定した私どもが自画自賛できる大変聴きごたえのある発表でした。



講評/角 知憲
(研究等助成審議委員長)

人材育成

社会の国際化、情報化等に伴い、国民ニーズが多様化する中、適切な国土管理、円滑な社会資本の整備及び利活用を進めることが重要となっています。

このため、河川、道路、環境、防災、構造物維

持管理、景観デザイン等をテーマとして、九州地区の大学、工業高等専門学校、団体等を対象とした実践的な人材育成や教育の取り組みを募集しており、令和4年度は、以下の3大学に助成を行いました。

令和4年度 人材育成決定者一覧表

番号	大学・法人名	人材育成課題名	実施期間
1	九州大学大学院 工学研究院	インフラ老朽化を克服するためのデジタル技術利用の実践	R4年4月11日～ R5年9月30日
2	長崎大学大学院 工学研究科 インフラ長寿命化センター	新規建設業入職者を対象として道守補助員コースの開催	令和4年5月1日～ 令和7年3月31日
3	熊本大学 熊本創生推進機構	熊本の水文化を世界に伝えるプロジェクト	令和4年5月1日～ 令和7年3月31日

令和4年度 人材育成助成の実施状況

■九州大学大学院 工学研究院

インフラ老朽化を克服するためのデジタル技術利用の実践

道路インフラを効率的に建設・管理していく上で生じる技術的な課題について、将来を担う土木技術者の育成を目的として、九州大学等の大学院生を対象とした講義や実習を行いました。

課題解決ワークショップのテーマとして、DXを活用した高速道路および関連施設の整備・維持管理のための方針、具体的施策について約4ヶ月の調査・検討を行い、最終発表会を実施しました。



構造物の実習状況



補修計画立案の実習状況

■長崎大学大学院 工学研究科 インフラ長寿命化センター
新規建設業入職者を対象として道守補助員コースの開催

建設業就職3年以内の若手技術者を対象として、11月17日、道路維持管理入門コースの道守補助員養成講座を開催しました。

産官17人が受講し、長崎県や長崎大学の専門家による道路の現状、橋梁・トンネル・舗装・道路斜面等の変状の説明後、経験豊富な道守認定者による橋梁の現場点検実習を実施しました。



道守補助員講義



橋梁現場点検実習

■熊本大学 熊本創生推進機構

熊本の水文化を世界に伝えるプロジェクト

ユース水フォーラムくまもとでは、熊本の高校生たちが熊本の水文化を世界に発信するための現場学習会「Re:WATER」を開催しました。

8月27日の第1回目は、益城町の秋津川河川公園内の“熊大ましきラボ”において、「お茶を楽しむ／水からまちを守る」をテーマに、お茶の飲み比べ体験や水辺の学習を行い、水を体感し楽しく学ぶ場となりました。



お茶の飲み比べ体験



熊大ましきラボにて

3

地域活性化等 支援事業

公益目的支援事業活動交流発表会

令和4年9月12日(月)、令和3年度の公益目的支援事業の支援団体を対象に、協会主催、九州地方整備局後援による「公益目的支援事業活動交流発表会」を開催しました。

本発表会は、九州7県の河川・道路等の社会資本整備に関する交流活動、地域活性化・環境保全に配慮した地域づくりに勤しむ活動団体の活動の励みやモチベーションの向上に役立つことを目的としています。

当日は、コロナ感染対策のため、会場参加とZoomウェビナーによるオンライン参加を併

用し、106名の方々(会場49名、Web57名)にご参加いただきました。

活動団体8団体による好事例の紹介や活動成果の事例発表を踏まえ、『継続ある活動』をテーマに活発な意見交換がなされました。

多様な場面で活動される参加者の皆さまからは、「今後の取組に大変参考になった」「現場の活きた情報が聞けた」「今後も交流発表会を是非継続して欲しい」との感想や、今後議論したいテーマ等様々なご意見をいただきました。

1.開会あいさつ



九州地域づくり協会
理事長
田中 慎一郎



九州地方整備局
企画部長
森下 博之 様



NPO法人
はかた夢松原の会
尾木 様



自然と暮らしを考える
研究会
石盛 様

2.事例発表

- ①特定非営利活動法人 はかた夢松原の会(福岡市)
- ②自然と暮らしを考える研究会(佐賀県唐津市)
- ③“語ろうみんなで!三つの輪”実行委員会(大分市)
- ④花繰自治公民館(宮崎県都城市)
- ⑤郷之原夢築づくり協議会(鹿児島県鹿屋市)
- ⑥玄界灘風景街道パートナーシップ推進会議(佐賀県唐津市)
- ⑦日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会(大分県佐伯市)
- ⑧ながさきサンセットロード振興会(長崎市)



“語ろうみんなで!三つの輪”
実行委員会
木ノ下 様



花繰自治公民館
二見 様



郷之原夢築づくり協議会
谷口 様



玄界灘風景街道
パートナーシップ推進会議
榎谷 様

3.意見交換

意見交換では、公益目的支援事業審議委員会の玉川委員長コーディネートのもと、会場やオンライン参加者を交えて「継続ある活動」をテーマに意見交換を行いました。



(意見交換会)
コーディネーター
公益目的支援事業
審議委員会
玉川 孝道 委員長



日豊海岸シーニック
・バイウェイ研究会
古田 様



ながさき
サンセットロード振興会
坂本 様

●総括

- 人が続いてバトンを渡していけば、組織・活動は続く。
互いに知恵を出して頑張っていこう。
- 活動の持続力には資金が必要。
次の世代まで含めて支援をする仕組みを。
- 川・道路・地域づくり、様々な形で元気いっぱいの活動を聞くことができた。
交流発表会の継続開催をお願いしたい。



参加者の皆さんと記念撮影

●地域活性化等支援事業の一部を紹介

①河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業

河川や道路を舞台とした愛護・啓発等の活動とともに地域イベント等を開催し、地域活性化を図るNPO等の団体活動を支援しています。

令和4年度は、NPO等の団体が活動主体となった2団体を支援しました。

河川愛護活動

白川の清流と緑を護る会

事業の内容

- 白川の日の一斉清掃
- 桜並木の管理育成(草刈り、清掃)
- どんとや実施区域の草刈り、清掃

事業の効果

- 一斉清掃等は、白川流域の皆さんが一体となって実施しており、地域住民の美化意識の向上につながっています。
- どんとやの活動は、力合地域の町の活性化に役立っています。



河川愛護活動

小島校区まちづくり委員会

事業の内容

- スカイフェスティバル開催
- 白川の日河川敷清掃活動
- 健康ウォーキング実施
- 小島公園桜管理・清掃
- 環境美化看板設置

事業の効果

- 国道沿いに環境美化看板を設置し、地域住民への意識啓発を促しました。また、あいさつ運動により明るい地域社会づくりに貢献しています。



●地域活性化等支援事業の一部を紹介

②環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業

水辺を遊びの場、自然体験の場、自然環境調査の場とするイベントを開き、川遊び、自然観察、環境(生物、水質)調査等の学習を通じて河川環境保全の重要性を啓発する活動を支援しています。

また、河川をフィールドとして活動する人材を育

成しているNPO等やボランティア団体と地域住民が連携する活動についても支援しています。

令和4年度は、川を体験する諸活動や環境保全活動等の10団体を支援しました。

鮭稚魚の孵化・育成・放流事業

遠賀川源流サケの会

事業の内容

- 鮭の遡上調査
- 鮭の孵化場整備及び給水の準備
- 鮭の孵化・飼育
- 鮭稚魚の放流

事業の効果

- 笹尾川の水辺の楽校をかきわきりに、遠賀川本流及び支流16箇所で行った稚魚の放流を地域の子どもや大人達(河川愛護団体)の協力により、無事終えることができました。



彦山川等河川環境保全活動事業

田川ふるさと川づくり交流会

事業の内容

- ダカッパ学校2022 in 田川
- ゲストティチャー実施
- ユーチューブへの環境学習録画投稿
- 河川環境学習と花壇へ花植栽
- 清掃活動及びゴミ分別調査
- 鮭稚魚放流

事業の効果

- 花壇整備やその維持管理を行うことで、不法投棄の抑制や地元住民の美化意識の向上につながっています。また、参加した児童にはボランティア活動への参加意識を高めることができました。



アザメの瀬関連事業

特定非営利活動法人 アザメの会

事業の内容

- アザメの瀬 田んぼの学校
- アザメで魚取り
- 夏休み自然環境教室
- 田んぼで魚取り(堤返し)
- ふくおか水もり自慢 in 北九州

事業の効果

- SDGsをはじめとする環境学習から河川愛護まで幅広く一年を通して学ぶことで子どもたちの成長に寄与しました。
- 昨年未開催だった収穫祭に大人の応援がたくさんあり、久々の交流もできました。



乙津川水辺の楽校事業

乙津川水辺の楽校運営協議会

事業の内容

- 乙津川周辺の清掃活動
- カヌー教室の開催
- つるさき環境フォーラムの共催

事業の効果

- カヌー教室の感動体験により、ふるさとの自然を大切に思う心を育み、子どもたちの健全育成と親子の絆を強める効果があります。
- 子どもたちの水辺活動を通して、地域の方々が河川の大切さやすばらしさを見つめ直す機会となっています。



魅力あるふる里の川づくり

赤江未来の会

事業の内容

- 河川・道路の草刈り、ゴミ拾い
- 彼岸花の球根植栽
- 小学生への総合的な学習支援
- みんなの農園にて野菜の植え付け、収穫
- 国・県・市道等の荒廃地にコスモス、菜の花の種まき及び桜の植栽を実施

事業の効果

- 河川及び周辺道路等の草刈りや清掃活動は、美化活動の啓発、通学路の安全確保と青少年の健全な育成に役立っています。
- 「みんなの農園」の収穫物を子ども食堂へ食材として提供しており、皆さんに大変喜ばれています。



zoomUP

ふるさとの川での多彩な体験を通じ、地域の交流促進

鹿児島県の大隅半島、鹿屋市の南隣に位置する肝付町で活動する「こうやま 川の少年団」は、家族いっしょに高山川で遊びたい、という地域の声に応じて平成13年に発足しました。

川魚フィッシングや川沿いでのキャンプ体験、イカダでの川下りや川の生き物調査など、ふるさとの川に親しむ取り組みを、年間約100名もの親子の参加を得て継続してきました。

さらに、自然体験だけではなく、日本最南端の前方後円墳がある地元の塚崎古墳群を訪ねる歴史学習や、薩摩郡さつま町の川内川にある鶴田ダムのバス見学など、さまざまな学びの場を親子で共有しながら、地域の人々同士の交流も深めています。協会からの支援金はフィッシング道具やライフジャケットの購入、バス見学の費用などに役立っています。



こうやま 川の少年団
団長 原田 和正 氏



●地域活性化等支援事業の一部を紹介

③河川・道路等の愛護活動支援事業

河川や道路等を慈しみ、住民参加型の維持管理（清掃・美化）を積極的に行い、道路利用者等へのマナー向上や道路愛護思想の啓発普及に努めている沿道住民、NPO、企業等団体のボランティア活動

（歩道清掃、花壇の維持管理）を支援することにより、地域コミュニティの活性化に寄与しています。
令和4年度は84団体を支援しました。

道路等の愛護活動支援事業

けやき通り発展期成会

事業の内容

- けやき通りの歩道美化清掃
- プランターへの花植え・水やり
- 小学校にて環境保全整備に関する啓発授業
- 植樹祭

事業の効果

- 清掃の継続でゴミの少ない歩道が保たれています。
- 花植え、水やりなどで街並みに潤いを与えることができました。
- 環境を考える授業を通して、子どもたちに活動の意義を伝えることができています。



ボランティア・サポート・プログラム

よしいコスモス街道実行委員会

事業の内容

- 道路の清掃活動
- コスモスの種まき前の除草活動
- コスモスの種まき、肥料まきから維持管理
- コスモスの刈り取り撤去

事業の効果

- 当事業を実施した結果、地域住民・バイパス利用者の美化意識が高まり、歩行者・運転者等の心の安らぎにつながりポイ捨てが減少しています。



国道201号見立入口交差点及び 周辺の美化と清掃活動

松和会

事業の内容

- 国道周辺の美化と清掃
- 花壇の花苗植替え

事業の効果

- 交差点内の花壇に花が咲き、周辺のゴミを拾うことできれいになり、それが地域住民に安らぎを与え、交通事故防止にもつながっていると思います。



ボランティア・サポート・プログラム

稲佐地区会

事業の内容

- 国道の地区内沿い清掃活動
- 花壇の花苗植え

事業の効果

- 定期的に清掃、ゴミ拾いを行うことで、環境美化・整備に貢献しています。また、清掃活動では金属片が回収されており、道路の安全面でも活動が評価できると思います。



国道10号西生石 道路清掃・美化活動

西生石自治会

事業の内容

- 道路の清掃活動
- 花壇に花植え維持・管理

事業の効果

- 国道10号の大分市の玄関口であり“おもてなし道路”として花を飾り、道路の美化が図られました。



zoomUP

約330名が参加する活動に成長した「花街道プロジェクト」

大牟田の町を花いっぱいにして、道守おおむたネットワークは平成25年から道路の清掃、植栽帯の除草や花植え活動を続けています。町の玄関口とも言えるJR大牟田駅前ロータリーでは毎月1回、花の手入れを行い、大牟田を訪れる人を華やかに、にぎやかに迎えています。

国道208号の歩道植栽帯に年1回、花を植える「花街道プロジェクト」では、沿線の企業にも参加を呼びかけ、地域の高校・大学生もボランティア活動で加わり、去年は約330名もの人々が参加するプロジェクトとなりました。地域のスポーツ団体・施設なども巻き込み、SNSの発信も活用して地域の人とひとしよに活動できるよう工夫。協会からの支援金は花苗や肥料、用土などの資材費に活用しています。



道守おおむたネットワーク
代表世話人
三原 くみこ 氏



国道57号等の植栽・清掃活動

「中九州横断道路」早期完成を願う女性の会

事業の内容

- 道路等の清掃・植栽活動

事業の効果

- 菅生小学校の児童との清掃活動では、子どもが自分たちの地域は自分たちで護ろうとする気持ちが感じられ、とても有効な活動だと思っています。
- 国道沿いの花植えにより、咲いた花が道を通る人たちの目を楽しませています。



ボランティア・サポート・プログラム

旧市花壇サポートクラブ

事業の内容

- 道路の清掃活動
- 花壇の緑化・花植え

事業の効果

- 令和4年度九州7県の道守活動紹介ポスターに当会も掲載され、モチベーションアップにつながっています。
- 男性の参加者が減る一方で、女性の協力者が増え、大いに活動の原動力となっております。



本明川河川敷の植栽による地域活性化事業

黒崎干陸地を守る会

事業の内容

- コスモスの植栽活動及び除草や清掃

事業の効果

- コスモスの花が諫早市の貴重な観光資源として地域振興に寄与しています。
- 河川敷の除草や清掃を行うことにより、雑草の繁茂を防止することができ、適正な環境維持に貢献しています。



本明川河川敷への花の植栽による地域活性化事業

特定非営利活動法人 拓生会

事業の内容

- ひまわり・コスモスの植栽
- ソメイヨシノ・つつじの植栽

事業の効果

- コスモスの植栽面積が4.8haで約300万本と県内有数の景勝地となっており、年間約8万人が訪れ、地元には大きな経済波及効果をもたらしています。



花緑柳河原川クリーン作戦

花緑自治公民館

事業の内容

- 川のゴミ拾い・水草の刈り取り
- 堤防の草刈り・花壇の整備

事業の効果

- 子どもから高齢者までの地域住民がゴミ拾いなどの清掃をし、堤防の草刈りや花壇の植栽を行うことにより、河川環境美化運動につながっています。



zoomUP

道路の沿道を花で彩る活動を、7年間、継続中です

地域の身近な生活道路の沿道に、花壇を作り、花を植え、水や肥料を与え、花を育てる活動を続けています。今から7年前の平成28年、花好きの女性が集まって道路脇に花を植えたのがはじまりで、現在では会員約155名を数える地域の女性ネットワークに成長しています。

役場庁舎や駅前ロータリー、ふれあい交流センターなど、人が集まる場所を花で彩っていると、誰が植えているのだろう、と人々の関心呼び、次第に参加者が増えてきました。「できる人が、できるときにやる」を合言葉に活動を続け、心癒され、潤いにあふれた江北町を目指し、環境美化に取り組んでいます。協会からの支援金は、おかげさまで花苗代や肥料代、熱中症対策費などに活用しています。



江北町女性ネットワークの会長
岸川 富差子 氏



④地域資源の活用による地域活性化活動支援事業

身近な公共空間である「道」を舞台に、地域資源（景観、自然、歴史、文化、考古、食・産物、祭り等）を最大限活用し、住む人・訪れる人にとって魅力的な九州を実現することを目的に、「九州風景街道」

の取り組みが管内15ルートで展開しています。これらの活動を進める多様な主体（地域住民、NPO、町内会・自治会等）の諸活動を支援しています。令和4年度は12団体の活動を支援しました。

令和4年度 街道遺産発見ウォーク事業「歩く唐津街道の旅」

旧唐津街道ジャーニーラン・ウォーク

事業の内容

- 唐津街道・長崎街道・萩往還の歴史資源探訪ウォーキング実施
- 唐津街道標識設置活動
- 「150回紀行誌」の発行

事業の効果

- 高齢化社会が進行していく中で、参加者の健康・歴史学習・交流機会の増進に多くの貢献をしています。
- 「歩き」による活動は、道路環境整備や沿道資源の発掘・発見の啓発行動になることも期待されています。



日本風景街道「ながさきサンセットロード」推進事業

ながさきサンセットロード振興会

事業の内容

- 西海岸沿線20箇所の一斉清掃
- 高校生フォトツアー開催
- マスク用コロシール作成

事業の効果

- 一斉清掃活動開始当初は、繁華街のゴミの多さに驚いたが、近年市民の意識が高まり、大変減少しています。
- 高校生フォトツアー並びに同展示会を初開催したが、参加した高校生は、普段立ち入ることができない工事現場を見られ、非常に好評でした。



日本風景街道「九州横断の道やまなみハイウェイ」

九州横断の道やまなみハイウェイ協議会

事業の内容

- やまなみハイウェイHP等の整備
- 野焼き事業の実施

事業の効果

- やまなみハイウェイのイベントや、ボランティア活動をまとめて情報発信できるHPの整備を行いました。また、動画撮影も行い、編集してYouTubeにもアップ、好評価をいただいています。
- 新規参加団体の募集をした結果、2団体が新たに参加して連携の輪が広がり、やまなみハイウェイ協議会全体の活動が活発化しています。



令和4年度 日豊海岸 浦・島連携 ツーリズム環境整備事業

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

事業の内容

- 「ウニ・伊勢えび」等の「廃殻」を一時保管するために倉庫を移設、設置しました。
- 屋形島の休耕地の土壌を「廃殻」で改良し、土地にあった柑橘類等の苗を植え、実験的に取り組んでいます。

事業の効果

- 当該浦・島地域に交流人口や関係人口の人流が戻りつつあり、当会の取り組みが追い風になっています。
- 「ウニ・伊勢えび」等の「廃殻」を有効利用することで、SDGsの取り組みとしても相成り、当該地域の好イメージづくりになっています。



かごしま風景街道周知啓蒙活動

かごしま風景街道推進協議会

事業の内容

- 活動ブロックに点在する地域資源を3回に分けて紹介

事業の効果

- 地域の歴史や昔からの社寺、地形・地質などをバス移動のみで紹介するのではなく“街あるき”を行うことにより、身の回りの地域資源の魅力を再認識していただきました。



zoomUP

県境を越え、観光道路の沿線で美化活動を展開



「つながる・ひろがる」
やまなみハイウェイ実行委員会
世話人
阿南 誠志 氏

熊本県と大分県にまたがる国道11号は、重要な観光道路「やまなみハイウェイ」として長く親しまれています。登山仲間と50年前から沿線のゴミ拾いを続けていますが、さらにハイウェイを愛する仲間とゴミ拾いの実践と眺望を整える修景活動に取り組むプロジェクトを3年前に発足させました。



年2回のゴミ拾いなど、県境を越えた美化活動は次第に広がり、去年は春のシンポジウムに続き、秋の「やまなみハイウェイつながる・ひろがるプロジェクト」では、熊本・大分地域の金融機関や民間団体などから約230名もの人々が集結。午前中は沿線約30kmでのゴミ拾い、午後は沿線の美化活動や修景研究などの課題を発表しました。こうしたシンポジウムのチラシ作成や会場費などに協会からの支援金を役立てています。

4

防災活動等 支援事業

災害復旧技術講習会(協会主催)

概要

近年、激甚な自然災害が頻発するなか、被災市町村では、災害査定などの普段体験しない対応と膨大な実務に限られた職員に求められています。

こうした状況下、九州地域づくり協会では、平成29年九州北部豪雨災害により被災した福岡県の朝倉市や東峰村に対して、災害復旧技術専門家と連携を取りながら、4年間をかけて災害復旧の支援活動を行って参りました。

この実績をもとに、当協会では、九州7県における市町村職員や技術者を対象とした災害復旧事業を

基礎から学ぶ機会を企画し、市町村職員等の災害対応能力の向上に努めています。

当講習会は、令和4年6月17日及び令和5年1月27日の年度内2回、会場参加とWeb聴講を併用して開催しました。



災害復旧技術講習会の様子

内容

第1回目:令和4年6月17日

①災害復旧事業のあらまし、②災害復旧事業制度、③失格・欠格事例などの基礎知識、④最新情報となる災害査定でのDXの取り組み、⑤被災市町村

への支援事例について、5名の講師より、災害査定等に関連する有意義なご講義をいただきました。



①国土交通省 水管理・国土保全局
災害査定官 原田 隆二 氏



②災害復旧技術専門家
後藤 信孝 氏



③国土交通省 九州地方整備局
災害対策マネジメント室
室長 寺尾 幸太郎 氏



④国土交通省 九州地方整備局
災害対策マネジメント室
課長補佐 田畑 浩規 氏



⑤(一社)九州地域づくり協会
技術部長 久留 省二 氏

第2回目:令和5年1月27日

①改良復旧事業や災害査定採択のポイント、②査定事例や留意事項、③TEC-FORCEやDXの最新情報、④具体的な被災市町村への支援事例について、4名の講師より、前回より更に実践に役立つ講義内容によるご講義をいただきました。



①災害復旧技術専門家
後藤 信孝 氏



②国土交通省 水管理・
国土保全局
災害査定官
原田 隆二 氏



③国土交通省 九州地方整備局
災害対策マネジメント室
課長補佐
田畑 浩規 氏



④(一社)九州地域づくり協会
技術部長
久留 省二 氏

成果

当講習会受講後の受講者アンケートの結果からは、今後の継続的な開催要請、遠隔地でも効率的な技術取得が可能となるWeb聴講への感謝、今後の更なる技術習得への要望などの数多くの好評価な

ご意見が寄せられるとともに、講習内容等への改善要望などもあり、今後の継続開催に励みとなる大変有意義な成果となりました。

九州防災エキスパート会への支援

九州防災エキスパート会は、九州地方整備局OBで組織している災害支援のボランティア団体です。

これまで培ってきた防災の知識・技術を生かし、災害時には現場に出動して復旧工法の指導等を行うとともに、平常時には各事務所が実施している出

水期前の点検・訓練等の活動に同行して助言などを行ったり、防災担当者や水防団などを対象とした水防工法の指導などを実施しています。

令和4年度は新たに32名の会員が加わり、令和5年3月末現在の会員数は439名となっています。

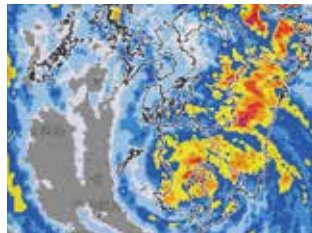
1. 台風14号に伴う活動

台風14号が9月18日(日)19時頃、935hPa(観測史上4位)で鹿児島市に上陸し、九州を縦断しました。

この台風により、宮崎県美郷町で総雨量985mm、大分県佐伯市で最大瞬間風速50.4m/sを記録しました。



台風14号の進路



鹿児島上陸時のレーダー雨量

① 緑川ダム管理支援

強い台風14号の接近により、18日早朝から緑川ダム管理所に出動し、予測降雨に基づき、随時様々な降雨予測パターンに基づく流入量計算を行い、緊急放流の可能性を検討し、19日10時まで、必要に応じて操作に関する助言を行いました。

なお、事前放流により、ダム水位を低下させて洪水に備えていたため、緊急放流に至らず支援を終えることができました。



操作打合せ状況



洪水調節状況

② 大分R210号(赤岩地区)安全点検

台風14号により、日田市天瀬町赤岩地区(令和2年7月災害時に設定した事前通行規制区間)において警戒水位を超えたため、9月19日13時より通行規制の解除に向けた安全点検を実施し、15時に交通開放を行いました。



安全点検状況(災害復旧対策委員会)



2. 平常時の活動

① 緊急対策シミュレーション(河川系事務所)

堤防決壊時の緊急対策シミュレーションは、一般的には、洪水又は地震を対象に事務所内で実施しています。

今回、筑後川では、7箇所の各出張所において、氾濫区域等の情報確認の他、復旧工法、備蓄資材、主要機材、搬入路、地元対応の確認等を実施し、出張所の役割も再認識できた有効な訓練でした。

☆R4実施事務所=(筑後川、武雄、長崎、大分、宮崎、延岡、大隅)



筑後川 矢部川(出)



筑後川 日田(出)

② 法面点検等の防災点検(道路系事務所)

道路事務所では、梅雨期前において、道路面の洗掘箇所とともに、法面不安定や排水不良の箇所、対策工周辺の状況確認等の防災点検を行いました。

☆R4実施事務所=(北九州国道、佐賀国道、熊本、大分、延岡)



北国・行橋維持(出)



延岡国道維持(出)

③ 大分川・大野川総合水防演習

九州各県持ち回り総合水防演習が大分川で実施され、九州防災エキスパート会大分支部10名が参加し、消防団等に対して、月の輪工法やシート張工法等の指導を行いました。



月の輪工法の指導



参加したエキスパート会員

まちなか防災2022への支援 (NPO法人 白川流域リバーネットワーク)

熊本市中心街・下通りアーケードにおいて、多くの来訪者等に対して、白川の特性と過去の洪水被害状況(S.28年6.26白川大水害など)や防災・減災に向けたパネルを展示しました。また、洪水ハザードマップや洪水リスクシミュレーションの動画を使用した居住地・市街地の洪水リスク認識を高める

活動等を行いました。

これらを通して、水害から自分や身近な人の命を守るための備えと早めの行動につながる水防災啓発活動を2日間実施しました。

■6月18日 参加人数:649人

■6月19日 参加人数:642人



主催者挨拶、スタッフ紹介後、準備に着手



下通り洪水リスクシミュレーション



会場正面新市街側(6.26浸水深表示)



2日間で1291人の市民が見学に立ち寄った



電源コードの始末(転倒防止用)



県からの配布資料置き場



白川・緑川流域立体地図



語りつごう阿蘇ものがたり



ハザードマップで洪水リスクを知る



洪水リスクVRを視聴中



立体地図を見る

広報活動支援事業

24団体

多様な道路空間の利用
～緑を活用した安全・安心の国道道路～
特定非営利活動法人はかた夢松原の会

道守活動

道守大川ネットワーク

道守清掃事業

道守柳川ネットワーク

I LOVE 遠賀川活動

特定非営利活動法人 遠賀川流域住民の会

P6

斜面崩壊と雨の降り方の関係に関するシンポジウム 北九州2022
＝斜面災害による人的被害を無くすために＝

斜面災害リスクに関する評価手法の開発と斜面防災の実用化に関する調査研究委員会

道守体験事業・道守交流会

道守佐賀会議

P6

道守支援事業

特定非営利活動法人 道守長崎

P6

映像で伝える土木の魅力プロジェクト

噂の土木応援チーム デミーとマツ

みちづくしin阿蘇2022

道守九州会議

P7

土木の日 熊本行事

土木の日熊本実行委員会

土木の日 大分行事

おおい建設人材共育ネットワーク ZOOM UP P7

第21回九州「川」のワークショップin筑後

第21回九州「川」のワークショップin筑後実行委員会

語ろうみんなで!三つの輪シンポジウム

(道の駅・日本風景街道・道守)

"語ろうみんなで!三つの輪"実行委員会

令和4年度 宮崎県内道守活動支援事業

道守みやざき会議

宮崎県「土木の日」

宮崎県「土木の日」実行委員会

P7

第36回 宮崎「橋の日」イベント

宮崎「橋の日」実行委員会

第10回 日南「橋の日」イベント

日南「橋の日」実行委員会

道守かごしま会議座談会・研修会等

(道守かごしま会議)事業

道守かごしま会議

下関北九州道路シンポジウム

(一社)日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)

九州建設技術フォーラム2022

九州建設技術フォーラム実行委員会

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム

海の中道フラワーピクニック2022

海の中道「フラワーピクニック」実行委員会

令和4年度「地域の夢・アイデア発掘・活用事業」

(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部

未来の建設インフラを担う九州地区大学・高専の若手人材ネットワークの育成とそれに伴う学生主体の実践的な研修会の実施
(一社)九州橋梁・構造工学研究会

地域活性化等支援事業

① 河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業 [2団体]

河川愛護活動

白川の清流と緑を護る会

P17

河川愛護活動

小島校区まちづくり委員会

P17

② 環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業 [10団体]

鮭稚魚の孵化・育成・放流事業

遠賀川源流サケの会

P18

リバーチャレンジスクール

直方川づくり交流会

彦山川等河川環境保全活動事業

田川ふるさと川づくり交流会

P18

アザメの瀬関連事業

特定非営利活動法人 アザメの会

P18

ふるさとの水辺を生かす体験学習と人材育成

自然と暮らしを考える研究会

環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業

特定非営利活動法人 天明水の会

乙津川水辺の楽校事業

乙津川水辺の楽校運営協議会

P19

魅力あるふるの川の川づくり

赤江未来の会

P19

ラブリバー団体支援事業

始良川河川愛護会

川を体験する諸活動

こうやま 川の少年団

ZOOM UP P19

③ 河川・道路等の愛護活動支援事業 [84団体]

不知火町公民館 国道208号道路愛護・地域活性化等活動

不知火町公民館

道路等の愛護活動支援事業

けやき通り発展期成会

P20

4町内環境美化委員会・国道208号道路愛護

・地域活性化等活動事業

4町内環境美化委員会

大牟田市民憲章推進委員会 国道208号街路美化事業

大牟田市民憲章推進委員会

ボランティア・サポート・プログラム

久大生コン内環境美化委員会

ボランティア・サポート・プログラム

よしいコスモス街道実行委員会

P20

花木植栽(花もも)及び維持管理の活動

浮羽バイパスフルーツロード保全会

地域活性化支援事業

ごみゼロ青春探検隊いとしま

ボランティア・サポート・プログラム

たんぼぼの会

ボランティア・サポート・プログラム

野多目大橋花クラブ

ボランティア・サポート・プログラム

双葉工業株式会社

国道210号バイパス線歩道等清掃緑化活動

川原町老人クラブ

ボランティア・サポート・プログラム

大和ハウス工業株式会社ボランティア活動の会

国道208号道路愛護・地域活性化活動

道守おおむたネットワーク

ZOOM UP P22

福国・橋守マイスター会活動

福国・橋守マイスター会

町内美化活動・花植栽

高坊二丁目南町内会

国道201号見立入口交差点及び周辺の美化と清掃活動

松和会

P20

一般国道10号小倉南区湯川新町地区

花だんの管理道路美化清掃

花と緑の会

国道3号沿いの除草及び清掃整備事業

(株)九州緑化建設

門司港地域における環境美化、整備、維持、管理活動

NPO法人 門司港レトロ花の会

美化・清掃活動

株式会社 田舎暮らし

道路愛護(花の苗)

多久市そうじの会

道路愛護

環境を守る会

一般国道34号外佐賀地区外道路美化活動

業隠会道守部会

道路清掃及び美化活動を目的とした地域

女性活動の活性化事業

江北町女性ネットワークの会

ZOOM UP P23

ボランティア長崎

ロード・スターズ

ボランティア活動(清掃)

共新電設工業株式会社

ボランティア活動(清掃)事業

クローバー・ロード清掃隊

ボランティア長崎

九州ガス株式会社 大村支店

ボランティア活動(国道緑化、清掃活動)

天満スマイルクラブ

ボランティア長崎

竹友会

ボランティア活動(清掃)

大菱電気工業 クリーン&グリーン推進隊

VSP 208号清掃、花壇管理事業

玉東町 町区会

ボランティア・サポート・プログラム

稲佐地区会

P21

ボランティア・サポート・プログラム

八代ドライビングスクール職員組合

ボランティア・サポート・プログラム

株式会社 森工業

道路の愛護活動事業(環境美化運動)

大津町商工会女性部

ボランティア・サポート・プログラム

八嘉校区まちづくり委員会

豊かな大分を目指そう大作戦

豊友会

国道10号 別大国道清掃美化活動

生石港町 自治会

道路愛護活動

顕徳町老人会テウスクラブ

国道10号 道守花壇(別府市上人ヶ浜)活動

別府市上人ヶ浜町自治会

国道10号 西生石 道路清掃・美化活動

西生石自治会

P21

菅生ゴミO(ゼロ)大作戦

竹田市立 菅生小学校

国道57号等の植栽・清掃活動

「中九州横断道路」早期完成を願う女性の会

P21

ボランティア・サポートプログラム活動

旭建設株式会社

ボランティア・サポート・プログラム

都城市市役所10号線通り会②

ボランティア・サポート・プログラム

内海地区自治会・公民館

ボランティア・サポート・プログラム

日南海岸コバノセンナを育てる会

ボランティア・サポート・プログラム事業

日南チョウザメ養殖場株式会社

ボランティア・サポート・プログラム事業

富士区

ボランティア・サポート・プログラム事業

鶴戸山をかつとしやる協議会

ボランティア・サポート・プログラム事業

社会福祉法人つよし会つよし学園成人部

ボランティア・サポート・プログラム事業

小吹毛井区福祉推進会

ボランティア・サポート・プログラム事業

日南市立鶴戸小中学校

ボランティア・サポート・プログラム事業

大黒グループ

ボランティア・サポート・プログラム事業

小目井花いっぱいし隊

ボランティア・サポート・プログラム事業

宮浦220号線花の愛好会

ボランティア・サポート・プログラム事業

宮崎日南生活ロード女性の会

ボランティア・サポート・プログラム

霧島会

ボランティア・サポート・プログラム

島山花いっぱい地域づくりの会

ボランティア・サポート・プログラム

新上橋電車通り会

ボランティア・サポート・プログラム

草牟田通り会

ボランティア・サポート・プログラム

栄門通り会

ボランティア・サポート・プログラム

伊敷町通り会

ボランティア・サポート・プログラム

鹿児島市立河頭中学校

ボランティア・サポート・プログラム

平山お通者レディースクラブ

ボランティア・サポート・プログラム

旧市花壇サポートクラブ

P22

ボランティア・サポート・プログラム

喜入まちづくりグループ

ボランティア・サポート・プログラム活動

特定非営利法人 How to 21 Club

ボランティア・サポート・プログラム事業

麦生田西区自治会

ボランティア・サポート・プログラム活動

御陵下地区環境美化グループ

ボランティア・サポート・プログラム

河頭町内会

ボランティア・サポート・プログラム

株式会社アルファー

VSP(220号清掃、植栽帯管理活動)事業

郷之原夢楽づくり協議会

VSP(220号清掃、植栽帯管理活動)事業

札元商工親睦会

VSP(国道220号清掃・植栽管理活動)事業

柘原地区振興会

国道220号 垂水荒崎パーキング清掃他活動

たるみず折鶴

本明川河川敷の除草・清掃・コスモスの植栽

本明川をきれいにしゅう会

本明川河川敷の植栽による地域活性化事業

黒崎干陸地を守る会

P22

本明川河川敷への花の植栽による地域活性化事業

特定非営利活動法人 拓生会

P23

大井手を守る活動

大井手を守る会

花いっぱい活動及び清掃活動

津留地区ふるさとづくり運動推進協議会

花縁柳河原川クリーン作戦

花縁自治公民館

P23

④ 地域資源の活用による地域活性化活動
支援事業

[12団体]

みどりの里・耳納風景街道PR事業

みどりの里・耳納風景街道推進協議会

地域周遊観光促進事業

唐津街道むなかた推進協議会

日本風景街道・豊の国歴史ロマン街道

豊の国風景街道推進協議会

令和4年度 街道遺産発見ウォーク事業「歩く唐津街道の旅」

旧唐津街道ジャーニーラン・ウォーク

P24

日本風景街道「ながさきサンセットロード」推進事業

ながさきサンセットロード振興会

P24

熊本県大分県にまたがった「やまなみハイウェイ」
環境と美化運動

ZOOM UP P25

風景街道阿蘇くまもと路(「つながる・ひろがる」やまなみハイウェイ実行委員会)

第五回日本世間遺産学会in日出

日本風景街道別府湾岸・国東半島海への道推進協議会

日本風景街道「九州横断の道やまなみハイウェイ」

九州横断の道やまなみハイウェイ協議会

P24

令和4年度 日豊海岸 浦・島連携ツーリズム環境整備事業

日豊海岸シーニック・ハイウェイ研究会

P25

第13回 日本風景街道大学 宮崎本校開催

日南海岸地域シーニックハイウェイ推進協議会

かごしま風景街道周知啓蒙活動

かごしま風景街道推進協議会

P25

令和4年度薩摩よりみち風景街道観光客受入事業

薩摩よりみち風景街道協議会

防災活動等支援事業

1団体

地域防災活動等

[1団体]

まちなか防災2022

NPO法人 白川流域リバーネットワーク

P28

●の中の数字は掲載頁を表しています。

●の色の事業はZOOM UPのコーナーに掲載しています。

公益目的事業報告書

発行日／令和5年4月

発行者／一般社団法人 九州地域づくり協会

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目5-19(サンライフ第3ビル4F)

TEL(092)481-3781 FAX(092)481-3785

<https://www.qscpua.or.jp/>

